

# 平成 29 年度 生活支援コーディネーター研究協議会 ～地域共生社会の実現に向けたこれからの地域づくり 開催要綱

## 1. 趣 旨

平成 27 年 4 月に改正介護保険法が施行され、総合事業等の新たな地域支援事業が各地で展開されています。生活支援コーディネーターや協議体については、平成 30 年 4 月までにすべての市町村で配置・設置されることが決まっています。

今年の 5 月に成立した「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法の一部を改正する法律」では、「自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化等の取組の推進」、「医療・介護の連携の推進等」と併せて、「地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進等」がねらいとなっており、「我が事・丸ごと」と称される地域づくりに向け、今後、市町村には住民の地域福祉活動参加への環境整備や包括的な相談支援体制づくりがすすめられることとなります。

本セミナーでは、こうした政策動向や地域包括ケアシステムの基本的な考え方を学ぶとともに、全国の実践等から学び合うことを通して、今後の活動のあり方について考えます。

## 2. 主 催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

## 3. 運営企画

新地域支援構想会議  
構成メンバー（順不同）：公益財団法人 さわやか福祉財団/認定特定非営利活動法人 市民福祉団体全国協議会/住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会/特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク/社会福祉法人 全国社会福祉協議会/全国農業協同組合中央会/一般社団法人 全国食支援活動協力会/公益財団法人 全国老人クラブ連合会/宅老所・グループホーム全国ネットワーク/特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク/一般財団法人 長寿社会開発センター/特定非営利活動法人 日本NPOセンター/日本生活協同組合連合会/一般社団法人 シルバーサービス振興会（おざーバー）

## 4. 期 日

平成 29 年 10 月 18 日（水）

## 5. 対 象

○生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）  
○行政・自治体関係者  
○助け合い活動、生活支援サービスを行う NPO、ボランティア団体、住民参加による生活支援サービスや助け合い活動の推進関係団体  
○生協、農協、社会福祉協議会等関係者 等

## 6. 会 場

全国社会福祉協議会 灘尾ホール  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルLB階

## 7. 定 員

300 名 ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます

## 8. 参加費

3,000 円

## 9. プログラム

※裏面をご覧ください

## プログラム

10:30～10:40	<b>開会・挨拶</b>
10:40～11:30 (50分)	<b>【行政説明】</b> <b>「地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会の実現 に向けて期待されるコーディネーターの役割」</b>  厚生労働省 老健局振興課
11:30～12:30 (60分)	<b>【講演】</b> <b>「『我が事・丸ごと』の地域づくりと 新たな地域支援事業の推進に向けて」</b>  市町村では今後、介護予防・日常生活支援総合事業の創設とともに住民等を含めた多様な主体による生活支援・介護予防サービスの体制が推進される一方、地域共生社会の実現に向けた「我が事・丸ごと」の地域づくりもすすめられていくこととなります。地域包括ケアシステムと地域共生社会との関係を含め、住民、専門職、行政が一体となったこれからの地域づくりの意義やあり方について講演をいただきます。 講師／ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏
12:30～13:30 (60分)	<b>昼食・休憩</b>
13:30～15:30	<b>【シンポジウム】</b> <b>「協議体、生活支援コーディネーターの役割と活動の実際 ～地域における支え合いの広がりをめざして」</b>  生活支援体制整備事業が始まり、協議体の運営や生活支援コーディネーターの活動について、各自治体の創意工夫により様々な取り組みがすすめられています。本シンポジウムでは、行政の担当者や生活支援コーディネーターの立場から地域づくりにむけた地域支援事業の展開、生活支援コーディネーターとしての活動の実際、協議体の効果や課題等をご報告いただき、これからの活動のあり方について考えます。 シンポジスト／ ・「段階的な移行による住民主体のまちづくり」 藤岡市役所 介護高齢課元気高齢者係 主任 飯塚 教仁 氏 ・「ワークショップを活用し互助を広げる町全体での取り組み」 三芳町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 関口 和宏 氏 ・「市職員と生活支援コーディネーターの二人三脚による取り組み」 多賀城市役所 保健福祉部介護福祉課介護予防係 主幹兼係長 高橋 洋之 氏 コーディネーター／武蔵野大学 教授 渡辺 裕一 氏
15:30～15:45	
15:45～17:15 (225分)	<b>休憩</b>
	<b>【全体討議（グループディスカッションと質疑応答）】</b>  シンポジウムでの報告や議論を踏まえ、グループごとに生活支援コーディネーターの活動について感じている課題等を共有するとともに、シンポジストとの質疑応答を行います。シンポジウムの内容理解を深めるとともに参加者相互に活動のヒントを学び合い、交流を図ります。
17:15	<b>閉会</b>

10. 申込期限	平成 29 年 10 月 4 日（水）〔定員になり次第、締切とさせていただきます〕
11. 申込方法	<p>○別添の参加申込書により、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店宛にお申し込みください。折り返し同社より参加券および参加費の振込依頼書等をお届けいたします。</p> <p>○参加費等のお支払いは、期日までにお済ませください。</p> <p>○当日は、参加券をご持参ください。</p>
12. 事前アンケート	<p>○「全体討議」の際に活用いたしますので、申し込みの際に、別紙事前アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。</p> <p>○事前アンケートの様式は、下記ホームページに掲載していますのでご活用ください。</p> <p>地域福祉・ボランティア情報ネットワーク <a href="http://www.zcwvc.net/">http://www.zcwvc.net/</a></p> <p>○ご記入いただいたアンケートは、メールにて事務局 (<a href="mailto:z-chiiki@shakyo.or.jp">z-chiiki@shakyo.or.jp</a>) までお送りいただくか、参加申込書とともに名鉄観光宛に FAX にてお送りください。</p>
12. 個人情報の取り扱い	<p>本研究協議会につきましては、個人情報保護における取扱契約を「名鉄観光サービス(株)新霞が関支店」と交わしたうえで、同社に上記の業務を委託しております。「参加申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ利用させていただきます。なお、本研究協議会の資料に参加者の氏名・所属・役職を掲載いたします。</p>

### <研修内容の問い合わせ先>

全国社会福祉協議会地域福祉部（担当：宮内、志村、平井） [z-chiiki@shakyo.or.jp](mailto:z-chiiki@shakyo.or.jp)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3581-4655 FAX. 03-3581-7858

※参加等の申込・参加券の送付・参加費の支払い等については、「参加申込書」をご覧のうえ、名鉄観光サービス新霞が関支店にお問い合わせください。

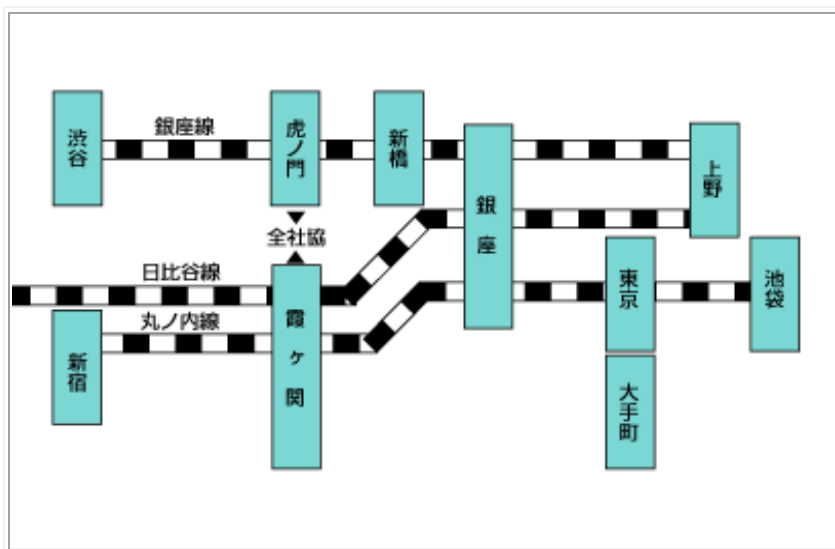
## 会場のご案内

全国社会福祉協議会・灘尾ホール

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル LB 階



## 交通のご案内



- ・地下鉄 銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分
- ・地下鉄 千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分
- ・地下鉄 千代田線／丸の内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分